



## 国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所

### **「言葉だけでは仕事は救えない」：UNWTO は、観光の回復を支援するための 政府による確固とした行動を求める**

2020年4月17日付 UNWTO 本部発表の和訳です。

原文はこちらから：<https://www.unwto.org/news>

世界観光危機管理委員会は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミック（世界的大流行）によって脅威にさらされている何百万もの雇用を保障するために、「言葉を超えて」、断固とした行動をとり始めるよう各国政府に対して強く求めるといふ、国連世界観光機関 (UNWTO) のスローガンの下に結集しました。

同危機管理委員会は、新型コロナウイルス感染症に対応するため、UNWTO によって召集されました。観光はすべての主要な経済部門の中では最も悪影響を受けているため、UNWTO は経済的影響がもたらすであろう、社会的な損害が今後拡大しないように警告しています。

UNWTO は、人々の生活を守るため、あるいは**最も脆弱な社会の人々を保護するため**にできることすべてを確実に行うよう、率先して各国政府に求めています。

#### **UNWTO は言葉ではなく、行動することを幅広く再び呼びかけた**

第3回世界観光危機管理委員会で、UNWTO はメンバーに対して、観光に関連する税制と雇用に関する政策を再考し、企業の復興に向けての広範な努力の推進を支援することにより、企業の存続を確実にさせることを世界のリーダーたちに働きかけるようメンバーに促しました。

これは、意思決定者が**新型コロナウイルス感染症との闘いを支援するための具体的な措置を講じるよう**働きかけがある中で、行動を呼びかけるものです。欧州委員会が欧



州連合内での政治的な協力体制を強化している中で、財政的・経済的な対応策を策定することは、今週の国際通貨基金や世界銀行の春季会合における中心的な議題でした。また、サウジアラビアが議長国を務めたG 20では、既存の資金不足と今回のパンデミックに適切に対処するために、政府、民間組織、慈善家に対して総額 80 億米ドルの拠出を求める声明が出されました。そして、観光危機管理委員会はこの動きの背景の下に開催されました。

UNWTO のズラブ・ポロリカシュヴィリ事務局長は、「この危機は国境を越えた連帯の強さを明らかにします。しかし、**素晴らしい言葉や振る舞いは、雇用を保障したり、生活が観光セクターの繁栄に基づく何百万もの人々を助けたりすることはありません。**政府にとっては、雇用を提供するだけでなく、平等と包括性を推進する比類ない能力を観光が持っていることを認識する機会です。観光セクターは、過去にも回復し、そして、社会の回復を助けることができることを証明してきました。私たちは、今、観光が再び復興をリードするために、適切な支持を得られることを求めています。」と述べました。

### ロックダウンされた世界の先を見据える

この行動の呼びかけは、新型コロナウイルス感染症がもたらす、世界の観光の停滞についての程度に関する UNWTO の報告を受けて行うものです。UNWTO の「旅行制限」に関するレポートは、全世界の国々の 96% が 1 月下旬から全面的、あるいは部分的な制限を導入していることを示しています。ポロリカシュヴィリ事務局長はまた、観光がもたらす社会的・経済的利益から社会が再び恩恵を受けることができるように、各国政府に対して、**安全が確保され次第、直ちにそうした制限を解除するよう**要請しました。

今後の展望として、世界観光危機管理委員会は観光セクターのための復興計画の策定に取り組んでいます。これは、国境を円滑に通過することや国同士の接続性を強化することなどを中心とする一方で、消費者と投資家の信頼を高めることにも取り組んでいます。

各国が再び成長することを支援するために、UNWTO はまもなく新しい**回復支援策 (Recovery Technical Assistance Package)** を発表します。これにより、加盟

国は能力の強化とより良い市場を構築することが可能となり、今後の困難な数箇月の間に観光セクターを振興することができます。

### 観光は一つになる

UNWTO は、新型コロナウイルス感染症が与える影響の緩和や観光の復興への準備のために、団結した対応策を策定すること目的として、観光セクターのあらゆる分野と主要な国際機関が一堂に参画する世界観光危機管理委員会を設立しました。同委員会には国連諸機関から、WHO（世界保健機関）、ICAO（国際民間航空機関）及びIMO（国際海事機関）の代表者が参加しています。そして、UNWTO 執行理事会及びその地域委員会の議長も加わりました。また、同委員会の会議においては、積極的に委員会に関与する国の数も増加しました。今回は、ケニア、ザンビア、セネガル、ジャマイカ、ブラジル、チリ、マレーシア、モルディブ、中国、ギリシャ、クロアチア、スペイン、アラブ首長国連邦、サウジアラビアの代表が出席しました。

UNWTO 賛助加盟員部は、民間セクター、市民社会及び学術機関全体から構成される加盟員を代表して今回も出席しました。それに加えて、IATA（国際航空運送協会）、ACI（空港評議会国際）、CLIA（クルーズライン国際協会）、WTTC（世界旅行ツーリズム協議会）等のメンバーが民間セクターを代表しました。また、IFC（国際金融公社）の代表者及び UNWTO 賛助加盟員議長であり、IFEMA（マドリッド見本市会場）の理事でもある Ana Larrañaga 氏も参加しました。第 3 回の会議では、新型コロナウイルス感染症に国際機関が対応する中で、観光に置かれた重要性が向上することを強調し、ILO（国際労働機関）と OECD（経済協力開発機構）から情報提供がありました。

**World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific**  
- A Specialized Agency of the United Nations

Silkia Nara 2F, Sanjo-honmachi, Nara, 630-8122, Japan Tel: +81(742)30-3880 Fax: +81(742)30-3883 Email: info@unwto-ap.org